

端子台一体電流センサ

開発中

2028年量産可能

- ・端子台一体化によりスペースの効率化に貢献
- ・仕様(電流検出範囲、形状etc.)に合わせたカスタマイズが可能

背景・課題

電動化に向けて駆動ユニット(e-axle等)の小型・軽量化が必要

課題への解決・特徴

用途：BEV / HEV / PHEVのインバータにて変換される交流電流を測定する

特徴・効果

1:電流センサと端子台を一体化し
防油機能を備える

2:カスタマイズが可能
(測定範囲、形状、etc)



駆動ユニットの小型・軽量化
および部品点数の削減

仕様・機能

電源電圧 : 5.0V±0.5V

使用温度 : -40~125℃

電流検出範囲 : ±1000A

出力精度 : ±9A以下(オフセット)

±3%以下(ゲイン)

出力方式 : アナログ(レシオメトリック出力)

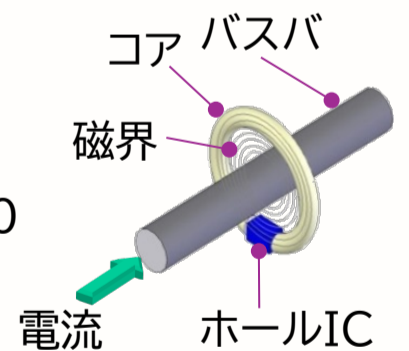
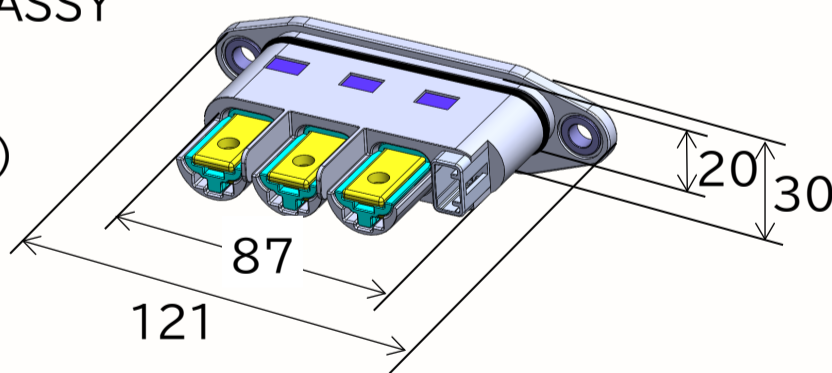
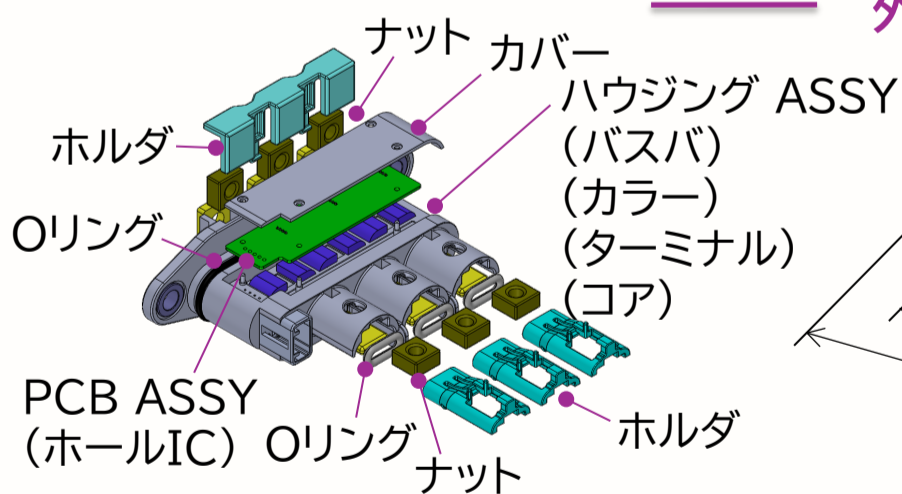
応答速度 : 6μs以下

検出方式 : ホールICによる磁束密度検出

消費電流 : 42mA以下

(詳細仕様は要求仕様を元に個別に検討させていただきます)

外観・構造



システム

